

志教育の 視点	☒ かかわる ・ ☒ もとめる ・ ☒ はたす
------------	---

活動名	Shoryo-Plan
教科・領域等	総合的な探究の時間
活動学年等	全学年
ねらい	・ 自己表現ができ、社会貢献ができる人材を育成する。 ・ 探究活動を通じて、「伝える力」と「問いを作る力」を養う。

【実践内容】

〔志教育の視点〕

本校の第2学年における、志教育の年間計画として、SDGs 学習がある。「自己を表現する力を身につけさせ、自分の意志や希望をはっきりと伝えられる生徒を育成する。」という目標のもと、自らの関心を表現することを通じ、社会と関わることや、社会に貢献する態度の育成を目指した。

〔活動内容〕

1 Shoryo-Plan 概要

本校では、総合的な探究の時間を中心に「Shoryo-Plan」という活動を実施している。第1学年から第3学年までの学年ごとにテーマを設定し、段階的に自己の在り方や社会との関わりについて考え、表現する取り組みを行っている。1年生では「私を考える」をテーマに、自身の興味や関心を探究し、進路や職業、学問分野について深く学んだ。2年生では「社会と私を考える」をテーマに、1年次に見つけた関心をもとに、社会との関連性を探究した。3年生では「私を伝える」をテーマに、自身の進学先や就職先について他者に紹介し、どのような役割を担いたいかについて考える活動を行った。

2 活動内容について

2年生の活動では、自己と社会の関わりについて探究を行った。これは志教育の視点である「かかわる」「もとめる」「はたす」との関連している。特に、SDGs を題材に取り上げることで、自己の関心が社会課題とどのように結びついているのかを考え、より良い生き方を求め、社会において果たすべき役割を模索した。主な活動として、個々の関心とSDGsの17の目標との関連性を考察し、社会における課題を明確にした。その上で、それぞれが問いを立て、その問いについて調査・考察を重ね、自分なりの答えを導き出す活動に取り組んだ。最終的に、活動の成果について、タブレットPCを活用してクラス内で発表した。

3 全体発表会について

クラス発表会の後、特に優れた発表を行った生徒をクラス代表として選出し、1年生から3年生が参加する全体発表会を実施した。他学年の生徒へ向けて発表を行い、代表者の発表を見ることを通じて、自己理解や他者理解を深めることを目指した。

